



各 位

平成 19 年 11 月 7 日

会 社 名 伊藤ハム株式会社
 代表者名 取締役社長 河西 力
 (コード番号 2284 東・大)
 問合せ先 取締役管理本部長 藤山 俊行
 (TEL 0798 - 66 - 1231)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 20 年 3 月期個別中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 18 日発表)	203,000	200	1,800	100
今回修正予想(B)	204,200	1,200	3,100	1,800
増減額(B - A)	1,200	1,000	1,300	1,700
増減率	0.6	500.0	72.2	-
前期(平成 18 年 9 月中間期)実績	201,374	333	397	1,695

2. 20 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 18 日発表)	247,000	1,700	2,200	1,500
今回修正予想(B)	250,000	2,300	2,500	870
増減額(B - A)	3,000	600	300	630
増減率	1.2	35.3	13.6	42.0
前期(平成 18 年 9 月中間期)実績	245,676	478	465	1,479

3. 修正の理由

個別

当中間期の売上高は、主に食肉の売上増が寄与して前回予想を上回る見込みとなりました。利益につきましては、販管費の削減により営業利益が 10 億円増加する見込となりました。営業利益増に加え、配当金収入増などにより経常利益は 13 億円の改善、関税納付約 6 億円を特別損失、関連会社の株式売却益 9 億円を特別利益にそれぞれ計上したことなどにより、当期純利益は前回発表予想を 17 億円上回る見込となりました。

連結

連結業績の修正は、主に個別業績予想の修正によるものですが、原油高による配送コストの上昇が個別業績に比べ営業利益の改善額を抑えました。当期純利益は、個別の修正理由に記載しました特別損失の計上により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現在見直しを行っており、本年 11 月 16 日の中間決算発表時に公表する予定です。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上